

有明高専だより

第122号
2007.6



校長だより.....	2
卒業式・修了式/入学式.....	3
新入留学生紹介・歓迎会/編入学生紹介.....	4
新任教員紹介.....	5
新任職員紹介.....	6~7
4年生研修旅行.....	8~9
専攻科新入生一泊研修/新入生歓迎行事.....	10

目次

新入生阿蘇オリエンテーション.....	11
ロボットグランプリ/春季球技大会.....	12
2年生研修旅行.....	13
岱明寮だより.....	14
卒業生・修了生の進路/学生表彰.....	15
トピックス.....	16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。
(数字:学年、M:機械工学科、E:電気工学科、I:電子情報工学科、C:物質工学科、A:建築学科、専:専攻科)



新入生阿蘇オリエンテーションでの1年生

校長だより



外へ出よう、外を見よう

校長 尾崎 龍夫

今春、新聞社が行ったアンケート調査によれば、企業が採用時に重要視する能力のトップ3は、コミュニケーション能力、行動力、熱意であった。これらの能力を在学中に身に付け、磨くためには、授業、部活動、学生会活動などにおける学生同士、教職員との交流、関わり合いが大切であることは言うまでもない。しかし、学外、地域の人々との交流、関わり合いの体験から学び取ることもまた大きい。是非学校の外へ出かけ、人々と出会い、外を見るよう心掛けて欲しいものである。ここで、本校が取り組んでいる地域との交流の事例をいくつか紹介したい。

2

1. 現代GP

本校の「荒尾地域再生産学住協働プログラム」が、昨年度文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラムに選定された。これは、本校の地域貢献の一環として、荒尾市の「まちなか研究室」で住民と学生が協働して地域づくりの活動に取り組んできた実績が評価されたためであると思う。このプログラムは、中央商店街にある「青研」、有明地区にある「ありあけの里」、駅前商店街にある「にんじん畑」の三つの「まちなか研究室」を、実践教育の場所と位置づけ、学生達と地域住民との交流を通して地域が抱える課題解決を図り、地域活性化に貢献することを目指すことを大きな目的としている。具体的には、人口減少、高齢化が進む荒尾地域の再生を、食づくり・酒づくりの農業生産から製造、商品化、販売まで一連の工程

を実践することによって、地域の課題を工学的・学際的に解決する方法を修得するとともに、地域で起業できる人材育成を図る取組である。そのために、本校の教員、地域住民、他大学等の教員が協働して担当する「地域協働科目」を、今年度から開講するほか、地域住民とのさまざまな共同研究、実践活動を計画している。学生諸君の積極的な参加を期待している。

2. 高専の森（竹プロジェクト）

近年、里山が竹に浸食され荒れている。それを憂えて、元々の里山を取り戻そうと活動している方々がおられる。岱明寮の裏山も正に竹に浸食されている。その裏山の竹を間伐し、自然林に戻し、「高専の森」を作ろうという活動が、「有明・里山を守る会」の誠に有り難いご提案で開始された。この4月から、毎月第2、第4土曜日に、会のメンバーの方々が中心になり、教職員有志、学生有志が作業に参加している。数年後には、遊歩道を備えた自然林が蘇るであろうと楽しみにしている。

3. ボランティア活動

高齢者や障害者の支援、環境保全活動などに参加してほしいという地域の要請に応える窓口として、昨年愛好会が発足し、活動していることを高く評価し、期待している。愛好会の呼びかけに応え、多くの学生諸君が活動に積極的に参加してくれることを願っている。

卒業式・修了式

3月20日(火) 本校第一体育館

第40回卒業式と第5回専攻科修了式が3月20日(火)、10時30分より第一体育館で挙行されました。卒業生192名には「準学士」の学位記、修了生23名にはJABEE修了認定書と「学位」の学位記が授与されました。

式後、各学科で行われた学科の会では、ご家族や学科の先生や歴代の担任の先生が見守る中、卒業生・修了生はこれまでの感謝の気持ちや今後の抱負などを話してくれました。



答辞を読む卒業生代表



卒業式



退場する卒業生



建築学科 学科の会



成績優秀者

機械工学科 岩崎 真人
電気工学科 古庄啓太郎
電子情報工学科 平川 信一
物質工学科 嶋村 豊
建築学科 神尾 沙和

学会表彰

機械工学科 佐藤 剛 (日本機械学会岡山賞)
電気工学科 平川慎太郎 (電気学会九州支部長賞)
電子情報工学科 溝口 佳世 (電子情報通信学会九州支部長賞)
物質工学科 刈屋真由子 (日本化学会九州支部長賞)
建築学科 松延 良枝 (日本建築学会九州支部長賞)

入学式

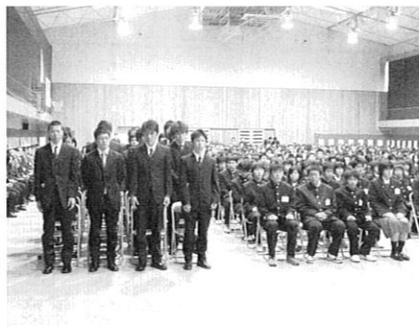
4月4日(水) 本校第一体育館

第45回入学式と第7回専攻科入学式が4月4日(水)、10時より第一体育館で挙行されました。大きな希望と多少の不安を抱いた新1年生209名、3年留学生2名、4年編入生11名の計222名を有明高専の一員として迎えました。専攻科には、

生産情報システム工学専攻23名、応用物質工学専攻7名、建築学専攻8名の計38名が入学しました。校長先生の式辞、大牟田市長・荒尾市長の祝辞、新1年生・専攻科生代表による誓詞、教員紹介などが行われました。



入学生一同



専攻科生一同



誓詞を読む入学生代表

新入留学生 紹介

3I Nguyen Hong Phuc (グエン ホン フク)



私は留学生のグエン ホン フクと申します。ベトナムから来ました。これから、私は有明高専の電子情報工学科で勉強します。

ベトナムは東南アジアのインドシナ半島東岸にあって、南北に長い国です。北を中国と西をラオス、カンボジアと国境を接します。東は南シナ海に面し、フィリピンと対します。首都はハノイです。ベトナムの面積は日本と同じくらい大きいです。人口は約8600万人です。ベトナムでは54の種類の民族が一緒に住んでいますが、キンの民族は87%の人口を占めます。だから、母国語はベトナム語です。私は日本において生活するので、専門と日本語を学ぶだけではなく、日本の文化や習慣も知りたいです。そして、私は頑張って早く高専の生活に慣れたいと思いますので、皆さん今からどうぞよろしくお願いします。

3A Sithammarath Vannavong (シタムマラッド ワンナボン)



サバイディー こんにちは

僕はラオスから来たトミーです。ラオスは東南アジアにあって、海がない内陸の国で、メコン川が流れています。地震も台風もない国です。住民の大部分は仏教徒です。言語はラオス語で首都はビエンチャンです。去年、日本に来て東京で1年間、日本語を勉強しました。そして、今年初めて九州に来ました。方言や習慣など分からないことがたくさんあります。いろいろと教えていただきたいと思います。有明高専では、建築を勉強します。部活は、サッカー部に入りました。みなさん、気軽に声をかけてください。どうぞ、これからよろしくお願いします。

留学生 歓迎会

4月26日(木)

ベトナムからの留学生フク君(電子情報工学科3年)とラオスからの留学生トミー君(建築学科3年)の2名が本校に入学しました。フク君・トミー君の歓迎、関係教職員と学生との親睦を兼ねて、4月26日に新入留学生歓迎会が行われました。

お二人の母国の紹介、吹奏楽部の演奏、学生会長の関君の大牟田の紹介などがあり、楽しい一時を過ごすことができました。



会場の様子



本校在学中の留学生たち

編入学生紹介



4M 深川 裕樹
玉名工業



4E 榎原 八寿芳
大村工業



4E 大瀬良 恭兵
上五島



4I 工藤 優愛
香椎工業



4I 濱田 喬
鹿町工業



4I 道平 裕樹
長崎工業



4C 杉本 裕介
熊本工業



4A 木下 彰裕
長崎工業



4A 柴田 尚登
福岡工業



4A 中嶋 満彦
長崎工業



4A 福崎 菜緒子
大村工業



新任教員紹介

本年度、新たに教員3名の方が赴任されました。
そこで次の4つのことをお聞きました。

Q1:本校に来る前は? Q2:高専あるいは本校学生の印象について? Q3:趣味は? Q4:抱負を一言



機械工学科
准教授
柳原 聖

- A1: 東京大学生産技術研究所土屋研究室で助手として働いておりました。
- A2: 見知らぬ人にもあいさつをしてくれるのがうれしいです。お客さんがいらしたときに大変喜んでくれていました。
- A3: 趣味は、うーん、何でしょう。学生時代はオフロードバイクでしたが、現在は毎日の仕事でイッパイイッパイ(笑)で、全く余裕がありません。そのうち見つけます。
- A4: これまでの人生の中で様々な先生にお会いして、大きな影響を受けてきました。学生さんに良い影響を与えられる教員になれるよう日々努力するつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。



建築学科
助手
飛田 国人

- A1: 京都府立大学大学院で学生をしていました。
- A2: 学生は、行動がとても活発的だと感じました。その行動の方向性を、他大学や社会全体を見回し、現実を知りながら考えられるようになれば、よりレベルアップできると思います。
- A3: 観劇とキャンプです。そのうち九州の劇団巡りをやりたいです。
- A4: 学生が将来のことを考える手助けをしたいと思います。学生のみなさんには、今後必要とされる知識や技術、社会人に求められている能力や責任感などを身につけ、立派な社会人になっていただきたいと思います。



一般教育科
助教
高本 雅裕

- A1: 九州大学大学院の博士課程にいました。また、2年間有明高専で非常勤講師として4年生の数学を担当していました。
- A2: 元気で個性的な学生が多く、一人ひとりが何らかの強い情熱を持っているように感じます。また教職員の方々も非常に熱心で、全体的に気力に満ちた「熱い」学校だと思っています。
- A3: 趣味はギターです。音楽はフォーク・ロック・ブルース・ジャズ・演歌・懐メロ・その他諸々・・・何でも好きですので、気に入った曲を見つけてはコピーできるように練習しています。
- A4: 学生の皆さんとは主に数学の授業で顔を合わせるようになります。数学はよく言われているように「積み重ね」が大事ですので、ワケがわからなくなったら「解る」まで徹底的に付き合うつもりです。少しでも数学が好きになったと言ってもらえるよう、できるだけ丁寧な授業を心がけていきたいと思っています。

新任職員紹介

本年度、新たに事務職員8名の方が赴任されました。そこで次の4つのことをお聞きしました。

Q1:本校に来る前は？ Q2:高専あるいは本校学生の印象について？ Q3:趣味は？ Q4:抱負を一言



事務部長
篠原 一夫

- A1: 木更津高専、九州芸工大学、福岡教育大学、九州工業大学と、この10年間は、学生系の仕事にたずさわってきました。
- A2: 私にとって高専は、公務員生活をスタートした最初の職場であり、ここで培ったものが、現在、物事を判断する上で役立っております。高専で今も昔も変わらないものは、「学生が素直で礼儀正しい」このことが印象的です。また、土地柄でしょうか。有明高専は、教職員に熱いものがあります。
- A3: 若い頃は、野球などしておりましたが、今は温泉めぐりが唯一の趣味であり楽しみです。北九州市から単身赴任しておりますので、休日は、県南の名所・旧跡など訪ねようと思っています。
- A4: 今、国立大学が大きく変わろうとしている時期に、高専だけはそのまま現状維持とはいきません。やはり、大学同様に、改善・改革を推し進めていかなくてはならないと思います。そのためにも、今以上に有明高専をより存在感のある学校にいくために、微力ながら努力していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いします。



総務課課長補佐
井上 智太

- A1: 九州大学財務部資産管理課で、主に資産管理関係及び宿舍関係の事務を行っていました。
- A2: 約10年前に3年間お世話になりましたが、そのときと比べると建物が新しくなっており、バリアフリー・各建物が渡り廊下で繋がるなどの環境のよさ、また、学生の活発な行動やあいさつをしている姿が印象的です。
- A3: 趣味は、映画鑑賞です。
- A4: これまでの経験を活かし、微力ながら本校をより良くするために、頑張りたいと考えておりますので、教職員の皆様方のご指導のほど、よろしくお願い致します。



総務課専門職員
篠田 昌宜

- A1: 熊本大学生命科学系事務部（旧医学部）で人事・職員系の仕事をしておりました。
- A2: 教育・研究棟の建物のすばらしさに驚いております。また広大な敷地も魅力的です。学生さんも元気ハツラツで非常に爽やかですね。
- A3: 散歩と食べるくらいです。週末はチョコチョコ自宅の熊本を中心に食べ歩いております。おかげでここ2年で10Kg体重が増えました。もっと散歩の量を増やしたいと思っております。
- A4: 事務情報の担当としてこちらに来ましたが、昨今の情報環境のスピードはより加速度を増している様に思えます。私も事務情報システム構築のためにスキルアップ向上に励みたいと思っております。どうか宜しくお願い致します。



総務課
宮崎 洋

- A1: 大学を卒業後、営業や設計など民間の企業に2年ほど勤めていました。
- A2: 最初は驚きましたが、学生のさわやかなあいさつに元気をもらい、毎日気持ちよく仕事ができる良い環境だと思います。
- A3: 広く浅くというような感じなので、これといった趣味がありませんが、自信を持って趣味といえるように、現在はギターを練習中です。コードを覚えた程度の初心者ですが、まずは1曲を弾き語りできるようになるのが目標です。
- A4: 事務の仕事は初めてですが、言われたことをただ処理するだけではなく、自分で考えた上で仕事をこなしていくように心がけています。ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、早く仕事に慣れ、学校の役に立てるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



学生課長
池田 純久

- A1**：独立行政法人国立青少年教育振興機構「国立諫早青少年自然の家」に勤務していました。それ以前は、佐賀大学、九州大学で主に庶務・人事系の事務をしてきました。
- A2**：朝、正門へ向かう上り坂を、たくさんの学生たちが、あるものは友だちと楽しげに話しながら、あるものはこれから始まる一日への期待と緊張を漂わせながら、また、あるものは重たそうに自転車を押しながら登っていく風景。そして、それを正門で迎える先生方の風景。とてもいいですね。
- A3**：若い頃は、九州の山をベースとした登山、また、バドミントンをやっていたことが、年齢、そしておなかの出具合とともに、山へも体育館へも足が遠のいてしまいました。今は、二人の子供が高校で野球をしていますので、その観戦・応援に出回っています。また、読書、TVドラマ・映画鑑賞。読書は最近藤沢周平の世界に浸っています。ドラマ・映画は、山田太一脚本のドラマ、石立鉄男主演の昔のTV、小津安二郎の作品、松本清張の原作ものと、古い作品が好みです。
- A4**：高専での勤務も初めてですし、永年大学で働いてきたにもかかわらず学生の皆さんと直接関わる仕事も今回が初めてです。“幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成”という本校の教育理念の達成のため、その礎となれればと思っています。



学生課教務係
竹下 和弘

- A1**：玉名工業高校を卒業後、熊本大学に就職して事務職員を3年3ヶ月していました。人事交流という形で今年の7月からお世話になっています。
- A2**：私は荒尾出身で、中学生の頃担任の先生から有明高専を受験してみないかと勧められたことを思い出します。結局合格する自信がなかったので受験しませんでした。学生たちみんな仲が良さそうで、先生方とも良い関係を築いているんだなと感じました。
- A3**：スポーツ観戦と音楽鑑賞です。特に野球が好きで、選手では松井秀喜（現ヤンキース）選手のファンです。あと、ソフトバンクホークスの応援に行きます。
- A4**：みなさんの学生生活がよりよいものになるよう微力ながら貢献していきたいと思います。まだ不慣れなところが多く、みなさんにご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



学生課看護師
分山 輝美

- A1**：眼科に勤めていました。患者さんは高齢の方が多く、様々な検査用器械があり大変でしたが、上司・スタッフに恵まれ楽しく勤務できました。
- A2**：学校は広く、緑に囲まれたすばらしい環境だと思います。学生のみなさんが純粋で親切に感じます。また、熱心に勉強に取り組む姿勢は見習いたいと思っています。
- A3**：友人との旅行や食べ歩きですが、最近は息子と遊ぶのに忙しく、なかなかできません。今はガイドブックを読んで旅行した気分を味わっています。
- A4**：みなさんが心も体も健やかに過ごせるために少しでもサポートできるよう頑張ります。



物質工学科事務
宮本 友代子

- A1**：介護保険事務所で事務の仕事をしていました。
- A2**：小さな学校と思っていましたが、大変広く設備が整っていると感じました。それと、女子学生さんが多いことに驚きました。
- A3**：押花です。いろんな草花を押花にして、好きなようにデザインして額に入れたり、ハガキなど小物を作ったりします。登山やサイクリングも好きです。
- A4**：まだよくわからないことが多いですが、何でも積極的に取組んで、早くみなさんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。

4年生研修旅行

5月15日(火)~18日(金)

機械工学科

三菱重工業(株)飛島工場/トヨタ博物館/トヨタ自動車(株)/
(株)ヤマザキマザック美濃加茂製作所

電気工学科

NHK放送センター/日本IBM(株)大和事業所/
日本モレックス(株)/日本航空(株)羽田整備工場

電子情報工学科

(株)テルム/東芝科学館/ドコモR&Dセンター/
(株)資生堂鎌倉工場/未来科学館

物質工学科

富士フィルム(株)神奈川工場/(株)資生堂鎌倉工場/
(財)かずさディー・エヌ・エー研究所/(独)製品評価技術基盤機構/日本科学未来館

建築学科

海遊館/大阪府立近つ飛鳥博物館/法隆寺/薬師寺/東大寺/神戸異人館/
阪神淡路大震災記念・人と防災未来センター/兵庫県立美術館

機械工学科

4M 森田 みさと

4Mは、名古屋方面の研修へ行ってきました。この間まで制服を着ていた私達は、まだまだスーツを着慣れておらず、なんだかとても新鮮でした。それと共に、大人へと成長する自覚が少し芽生えたのではないかと思います。今回、三菱重工業、トヨタ自動車、ヤマザキマザックの3社を見学しました。三菱重工業では、飛行機やロケットを見てきました。どれもスケールが大きく、まだ私達が見ている世界は狭いものだと実感させられました。トヨタ自動車では、工場、博物館、展示場へ行きました。ヤマザキマザックでは、学校生活では目にすることのできない様々な加工技術を見てきました。この3泊4日で私達の視野はとても広がったと思います。仲間との仲も深まり、とても貴重な体験となりました。この研修で得たものは、目に見えるものではないけれど、無駄にすることなく、今後の学生生活に活かしていきたいと思います。



電気工学科

4E 高田 幸

今回私たち電気工学科4年は、東京方面に研修へ行きました。初日、NHK放送センターでテレビ番組の制作・編集・送信という一連の流れを学びました。また、有明高専OG大津さんからお話を聞くことができ勉強になりました。翌日は日本IBM大和事業所で世界に誇るスーパーコンピュータ・Blue Geneや最先端の情報技術に触れることができ、皆感激しました。コネクタを生産・販売している日本モレックスでは、間近で生産過程を見学しました。社員一人一人が製造に深く関わっていくことでより良い製品が生まれ、結果として現在の社会的信頼があるのだと感じました。最終日は、JAL羽田整備工場を訪問しました。飛行機の飛ぶ原理から整備の現場までを学び、皆飛行機のスケールに圧倒されていました。

この研修は私にとって実際に企業を見ることで、自分自身の進路について考える助けとなりました。今後の活動に活かしていきたいです。



電子情報工学科

41 川野 信乃

この三泊四日の関東への研修旅行中の全てのことが新鮮で、印象に残りました。一日目はまず横浜の㈱テルム東芝家電リサイクル工場へと向かいました。工場見学の中で石油や鉄などの資源が、21世紀中に枯渇してしまうという話を聞き、改めて環境破壊が進んでいることを認識しました。ここでは具体的に対策を考え、行動しているので本当にすごいと思いました。次に見学した東芝科学館でも環境への配慮をしたものが展示されていました。二日目の横須賀のNTTドコモR&Dセンターでは、最新技術を駆使した成果が展示されており、どうしたらこんなもの思いつくのだろう、どうしたら実現できるのだろうと、とても刺激を受けました。それから資生堂鎌倉工場を見学し、とても疲れたけど、本当に楽しかったです。最終日は未来科学館で科学の進歩を体感することができましたが、見学時間が短かったのが少し残念でした。

どの見学でも感じたのは、技術の進歩の裏にはいつも、「誰かのために何かしてあげたい」という気持ちがあるということです。それは生活を豊にするものであったり、守るものであったりと様々ですが、基本的なことは同じだなと思いました。また、東京には本当に人が多くて、改めてこの地球には沢山の人が生きていてと感じました。



このような沢山の
人々を幸せに
できるような技
術者になれば
いいなと思いま
す。



物質工学科

4C 小田 奈津姫

私達物質工学科は、関東地方へ研修に行ってきました。訪問先は、資生堂鎌倉工場、富士フィルム神奈川工場、かずさDNA研究所、NITEの4カ所です。資生堂、富士フィルムでは、廃棄物質を有効利用する仕組みができていました。製品を作るだけでなく、周辺住民や環境にも配慮した活動が企業には求められているということを感じました。かずさDNA研究所、NITEでは、生物コースの人には授業と関係の深い内容が多く、とても勉強になったと思います。かずさDNA研究所の研究内容は世界でもトップクラスということで、日本の技術はすごいと思いました。

どの訪問先でも、最先端の技術が利用されていて、その全ては私たちが学校で学んでいる内容を発展させたものです。残り的高専生活では、この研修で学んだことを生かしていきたいです。この4日間はとても有意義な4日間でした。



建築学科

4A 宮下 いづみ

「そのときの出逢いが人生を根底から変えることがある」有名な詩人、相田みつをの作品の一部である。3泊4日の大阪、奈良、京都、神戸を訪れた研修旅行で接した建築物、それこそがまさにそのときの出逢いの一つに感じた。現代を映し出すモダンなものから、その時代独特の建築様式を使ったものまで多種にわたる建築物を目にし、授業で得た知識だけでは伝わらない驚きと衝撃を覚えた。色あせた建築物は現在も昔と変わらぬ圧倒的な存在感と輝きを放ち、瓦一枚、柱1本が積み重ねてきた時代の重さを伝えてくる。まさに生きた建築が存在していた。それと同時に、さらに多くのことを学び、より建物が語りかけてくる何かを理解したいという欲求も生まれた。今回の研修は思い出と、大切な「出逢い」を与えてくれた機会として感謝

するとともに、建築物とはその時代のニーズに合わせて進化していく「生き物」であることを学んだ貴重な時間となった。



専攻科 新入生 一泊研修

4月19日(木)・20日(金)

専攻科新入生同士の親睦と専攻科生としての自覚を持ってもらうために、4月19日(木)～20日(金)に「リフレッシュおおむた」で研修を行いました。19日午後学校を出発し、研修施設に到着後、すぐに研修に入りました。専攻科長より教育プログラム等の説明があり、続いてエネルギー・資源問題に関する校長講話が行われました。研修終了後、夕食準備に取りかかりました。夕日を見ながら校長先生も一緒になりバーベキューパーティーを開催しました。その後、

施設内で校長・教職員を囲み夜遅くまで学生達と語り合いました。

二日目は10時30分から大牟田エコタウンで、昼食を挟んでRDF（ゴミ固形燃料）センター、リサイクルプラザ等を見学しました。

新入生と教職員の協力により研修目的を十二分に達成することができました。新入生諸君のこれからの活躍を期待しています。

(専攻科長 宮本 信明)



校長講話



夕食の準備



バーベキューパーティー



校長との談話



エコタウン見学



エコタウン見学

新入生歓迎行事

4月13日(金)

新入生歓迎行事が4月13日(金)に行われました。各学科、それぞれ特色のある歓迎で、1年生から5年生まで楽しく交流できたのではないのでしょうか。他の高校とは違い、高専には5年生までいます。15歳から20歳までの幅広い年代の学生が一つになるのは簡単なことではありませんが、いままでの先輩方は特に体育祭・高専祭で見事に団結されていました。この歓迎行事が今年の体育祭で例年以上の団結力を発揮するための第一歩となれば良いと思っています。体育祭だけではなくその他の様々な場面でも、学年の壁を越えて様々な交流や協力がなされることを期待しています。

(学生会長 5A 関 勇輝)



M科



E科



I科



C科



A科

新入生阿蘇オリエンテーション

5月9日(水)～11日(金)



阿蘇の大自然に触れて

1A 酒井 瑞

僕は今回の阿蘇研修で雄大な大自然に深く感動しました。また、研修二日目のオリエンテーリングで見た多くの山々や動物、草原は僕に自然を愛する心を学ばせてくれました。

本当に何もかもが自分にとって新鮮でなつかしかったです。

僕は小学三年生の頃まで岩手県の雫石町という所に住んでおり、そこには民営で最大の牧場、小岩井農場があります。僕は家族とそこへよく遊びに行きました。今回来た阿蘇はそことよく似ていました。周りを囲む山々などの風景が、まさにそうです。

阿蘇研修での一番の思い出はやはりオリエンテーリングです。僕も含めて同じ班のみんなは、最初は張り切っていたんですが、途中、水道に取り付ける様な機械や鉄くずを拾うと、とても重くてだんだん笑えなくなってきました。いろいろ持ち方を工夫しながら高い丘へ登ると、そこで昼食をとりました。眺めが良く、ご飯も美味しかったのですが、強風でかなり冷えまして。さらに大きな牛が急接近してきたので驚きました。そうやって苦労した結果、特別賞として選ばれたので嬉しかったです。班の団結がなければ、これは達成できなかったと思います。班員と協調できたことが自分にとって何よりの賞です。

二泊三日で終わった阿蘇研修は、これからも一生忘れられない思い出になるでしょう。この経験を今後の活動に生かしていこうと思います。

阿蘇研修を終えて

学生会長 5A 関 勇輝

1年の時以来、4年ぶりに阿蘇研修に参加しました。5月9日～11日までの三日間、学生会長として、1年生を指導するという立場での参加だったのですが、久しぶりにあの阿蘇研独特の厳しさに触れ、逆に自分の普段の学生生活での怠慢な部分を一喝してもらったような気分です。1年生の皆さんも、楽しい思い出もできたでしょうが、それだけではなく、阿蘇研で先生や団長達から学んだことも忘れずにこれからの学生生活に活かしていってほしいと思います。

阿蘇研修に来て

1E 村上 龍平

僕は今回この阿蘇でのオリエンテーションに二つの目標を持ってのぞみました。

一つ目は、クラスメイトと仲良くなるということです。正直、僕はかなり人見知りしがちで、いつも決まった人としか接していませんでした。だからこの阿蘇でのオリエンテーションでまだあまり話したことがない人ともどンドン話をして、よくお互いを知りたいというのが一つ目の目標でした。

ハイキング、オリエンテーリング、自由時間など、僕は普段あまり話していなかった人とも少しずつ話したり、遊んだりして、すごくお互いを知ることでもできたし、なにより仲良くなれたことが一番良かったです。

二つ目は、高専での生活・学習での目標を見つけるということでした。

僕はまだよく高専についてや、これからどういふことを考えていけばいいかなど具体的な目標がありませんでした。しかし、二日目の講話を聞いて、まだ具体的ではないけど一つの目標を見つけることができました。まず勉強面では、一年生は5年間の中でも重要な基盤をつくる過程なので、毎日の授業を大切に、家ではしっかり復習をして、その日学んだことをしっかり自分のものにしていきたいです。生活面では、自分が有明高専の学生というしっかりとした自覚をもって学校以外での場所での行動にも気をつけていきたいです。一人の行動一つで有明高専の評価を良くも悪くもするので後先をちゃんと考えた行動を心がけていきたいです。この研修で見つけた目標をこれからの生活でしっかり意識していきたいです。

今回のオリエンテーションは、最初にたてた目標も達成することができ、また更に新しい目標も見つけることができたので、本当に良かったです。この新しい目標をもって高専生活をがんばっていききたいです。



有明高専の「知から自慢」集結!

今年も「ロボットグランプリ2007」が、4月24日に第一体育館で開催されました。今年のテーマは、「知から自慢宅急便」!フィールドの中央に置かれた材料の異なる9個の荷物を、各エリアに運んで得点を競う競技です。荷物は、コンクリート、アルミニウム、塩化ビニル、木材、発砲スチロールで、重いものは2.7kgにもなります。全8チームが有明一の力持ちを目指してマシンを製作し、試合では、なかなか激

しい戦いも見られました。有明一の知からマシンで優勝したのは、2Iの学生で結成された「IS」、準優勝は4Mの「N&M」でした。アイデア賞を「和(なごみ)」、技術賞を「東京ヴェルディ1969」が受賞し、喜びの学生、本領発揮できずに負けてしまった学生、今年も有明高専のロボコンシーズンが始まりました。(M科 篠崎 烈)



各チームのリーダー



表彰式



試合後の記念撮影

春季球技大会

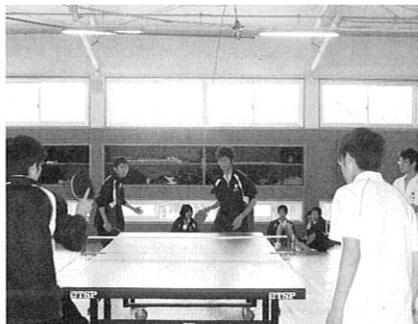
5月23日(水)

5月23日(水)に、夏を思わせるような照り付ける太陽の下、春季球技大会が行われました。どのクラスも、練習の成果が発揮できたでしょうか?

本大会も皆さんの御協力のおかげで、無事に行うことができました。

冬季球技大会でも、クラス一丸となり、優勝目指して頑張らしましょう。(3M 柿原 隆宏)

最優秀クラス	5 E		
優秀クラス	5 M		
種 目	優 勝	準優勝	M V P
ソフトボール	5 E	4 E	松本 晋治(5 E)
バレーボール	専攻科	5 M	古庄啓太郎(専攻科)
女子バレーボール	4 C	5 A	伊藤 杏奈(4 C)
卓 球	1 A	2-3	田中 了(1 A)
ソフトテニス	5 E	4 M	秋山 研二(5 E)



2年生研修旅行

4月18日・20日・25日、5月1日・8日

混合学級クラス編成の2年生の研修は、昨年度から「教養を高め、社会性を身につける」を目的に、クラスの親睦もかねて、九州国立博物館と太宰府周辺の見学を行っています。

九州国立博物館について

まず、その形と大きさに圧倒された。写真やテレビを見てきたので、それなりに大きいとは思っていたが、ここまで大きいとは思っていなかった。天井の滑らかな曲線もとても美しく、独特の雰囲気を持っているのに周囲の自然と見事に調和していた。

入場してからも驚きはつきなかつた。1階のエントランス、上を見上げると木材の大きく長い棒が組み合わさって、天井を支えているようだった。その吹き抜けのスケールの大きさと開放感あふれるガラスばりの窓がマッチして、涼しさを感じるのと同時に、所々に見られる木材の存在から暖かさも感じられた。

エレベーター、エスカレーターや手すりを始めとしたバリアフリーの設備や太陽光発電設備も設けられており、人間と自然、双方にやさしいすばらしい博物館だと思った。

博物館常設展について

この九州国立博物館に行って感じたことは、「とてもおもしろかった」ということです。現代にはないものが見られたことはとてもうれしく思いました。また博物館内の展示品には、当時のものがそのまま壊れずに現存していました。とくに、僕が興味を持ったのは、縄文時代に使われていた土器や旧石器？新石器時代に使われていた矢じりなどです。歴史の授業で、打製石器や摩製石器とよばれるものがあると習いましたが、実際に見たことがありませんでした。実際見てみると、授業で習ったとおり、打製石器は石をくいだいたものであり、摩製石器は、その石を磨いたものでした。また土器に関して知ったことは、土器とは日本全国でほり出されており、特に九州の土器は形が悪いということです。博物館で僕は、当時の人のくらしや文化を学ぶことができました。とても良い経験をする事ができたと思います。

特別展「未来への贈り物？中国泰山石経と浄土教美術」について

国立博物館には、歴史的・文化的重要な価値の高いものがたくさん展示してありました。その中でも経筒や教箱の類は特に多かったように思います。それだけ古代の日本の人々の生活に仏教というものが深く根付いていたのだらうなと感じました。

遙か昔の人々の暮らしに想いを馳せる機会を持つことで、今のそしてこれからの私たちの生活を改めて考え直すきっかけになったと思います。とても勉強になりました。



13



光明禅寺について

僕は光明禅寺に行き、一番印象的だったのは石庭です。2、3個の大きな石を中心にきれいに曲線を描いてありました。本堂ではちょうどお経を読んでいる所では入りませんが、とても広くて神々しかったです。

太宰府天満宮本殿について

第一印象は、すごく豪華だということです。外観からは、古い感じがでていて、和風だということを強く感じさせられました。

本殿の中はとてもピカピカで豪華な感じをだしていました。柱は金ピカで、ところどころに綺麗な彩色がほどこされて、豪華の一言しか出ませんでした。菅原道真のすごさが、この建物から少し分かりました。



全体の感想

研修旅行ではとても貴重なものを見ることができて、そして楽しく充実した旅行になったと思います。博物館なんてめったに見に行くことはないので良い体験ができたと思います。日本の文化に触れ、実際に自分の目で見られたことはとても勉強になりました。また、太宰府も歩いて回って楽しい時間を過ごすことができました。そして、この旅行では新しい友達とも仲良くすることができたと思います。混合学級になってまだ知らない人もいたと思うけど、この旅行でだいぶお互いを知ることができたと思います。

この研修旅行の目的である「教養を高め、社会性を身につける」は十分に達成することができたと思います。これをきっかけにもっとクラスみんなが仲良くなっていったらいいと思います。

岱明寮だより

寮生指導者研修会 in 岱明寮

4月1日(日)、寮生指導者研修が岱明寮にて行われました。参加者は寮生会役員22名、寮務主事室スタッフ4名、寄宿舍運営委員、寮務係、寮母さんの総勢33名で、寮生遵守事項の確認、寮生会と主事室の双方からの要望、重点目標など、今年度の寮の運営方針について、研修を行いました。

今年度重点目標

寮をきれいにする

美しい岱明寮をつくろう!!

寮長 安田君より、今年度の岱明寮の重点目標が寮生総会にて発表されました。

入寮式

4月4日(水)12:00より、視聴覚室で、入寮式、入寮オリエンテーションが行われました。1年生58名、3年の外国人留学生2名、4年編入生7名の計67名が、岱明寮に新たに入寮しました。尾崎校長先生・寮務主事のお話、寮務主事補からの寮生活についての説明、5A安田寮長や指導寮生のあいさつがありました。



寮長・指導寮生から新入寮生へ挨拶

新入寮生歓迎夕食会

4月8日(月)、岱明寮において、新入寮生歓迎夕食会が行われました。1年生、4年編入生、外国人留学生の合計67名の新入寮生が在寮生の拍手の中入場しました。校長先生・寮務主事からのあいさつ、出席教職員の紹介の後、会食が始まりました。その後、恒例の新入寮生一人一人による自己紹介が行われました。



指導寮生が挨拶



一年生が元気に挨拶

寮生消火避難訓練

4月9日(火)、岱明寮において、青葉棟補食室からの火災発生を想定して、寮生避難訓練が行われました。訓練火災の放送後に、寮生全員が避難し、寮務主事・荒尾消防署の方からのあいさつがありました。その後、消火訓練、各棟の避難経路・消火器・非常梯子設置位置の確認を行いました。



銀杏棟南側広場に避難



消火器による消火訓練

卒業生・修了生の進路

機械工学科

ダイキン工業(株)
 (株)ニコン
 (株)中央エンジニアリング
 富士重工業(株)
 (株)デンソー北九州工場
 東陶機器(株)
 (株)JAL 航空機整備東京
 (株)JAL 航空機整備成田
 (株)マツダE&T
 三菱化学エンジニアリング(株)
 ソニーイーエムシーエス(株)幸田テック
 ソニーイーエムシーエス(株)浜松テック
 三菱電機ビルテクノサービス(株)
 東京エレクトエロンF E(株)
 マツダ(株)
 ブラザー工業(株)
 日本ビソー(株)
 ソニーセミコンダクタ九州(株)

電気工学科

九州旅客鉄道(株)
 トヨタ自動車(株)
 キヤノン(株)
 出光興産(株)
 (株)安川電機
 三菱電機システムサービス(株)
 西日本旅客鉄道(株)
 デンソーテクノ(株)
 (株)エージーピー
 (株)NTTファシリティーズ
 中外製薬工業(株)
 (株)富士通九州システムエンジニアリング
 (株)JAL 航空機整備成田
 サンリツオートメイション(株)
 パナソニックコミュニケーションズ(株)
 東海旅客鉄道(株)
 博多港ふ頭(株)
 京セラ(株)国分工場
 京セラ(株)川内工場

電子情報工学科

NTTコムウェア九州(株)
 九州旅客鉄道(株)
 日本たばこ産業(株)
 デンソーテクノ(株)
 (株)ケーシーシー
 (有)オレンジコーポレーション
 ソニーセミコンダクタ九州(株)
 (株)ユニバーサルマリンシステムズ
 (株)DNP西日本
 (株)BPA
 NECフィールディング(株)
 日産自動車(株)

第一精工(株)
 キヤノン(株)
 ダイキンエアテクノ九州(株)
 極東開発工業(株)
 (株)ビービーエイ
 キヤノンシステムアンドサポート(株)
 三菱重工業(株)長崎造船所
 三井金属鉱業(株)
 津田工業(株)
 いすゞエンジニアリング(株)
 有明高専専攻科
 九州大学工学部
 九州工業大学工学部
 九州工業大学情報工学部
 豊橋技術科学大学機械システム工学課程
 佐賀大学工学部
 熊本大学工学部

物質工学科

ニプロ(株)
 高木工業(株)
 (株)東洋新薬
 旭化成(株)
 三井金属鉱業(株)
 中外製薬工業(株)
 (株)再春館製薬所
 日本ペイント(株)
 日本ファインコーティング
 ユニチカ(株)
 室町ケミカル(株)
 日東電工(株)

触媒化成工業(株)
 田中電子工業(株)
 三洋化成工業(株)
 森永乳業(株)
 (財)有明環境整備公社
 (有)Wood Village Ltd.
 日本触媒(株)
 有明高専専攻科
 長岡技術科学大学生物機能工学課程
 岡山大学工学部
 岡山大学環境理工学部
 九州工業大学工学部

建築学科

山九(株)
 (株)鴻池組
 (株)オグシホーム
 (有)アミ環境デザイン
 環アソシエイツ
 (株)浅沼組
 前田建設工業(株)
 西松建設(株)
 (株)SUMCO
 戸田建設(株)
 (株)大林組
 (株)緑
 (株)今村組
 東し建設(株)
 日ポリ化工(株)

防衛省施設局
 九鉄工業(株)
 日本ビソー(株)
 大和ハウス工業(株)
 高砂熱学工業(株)
 (株)アダル
 タイタン(株)
 (株)ユニオン建材ビルダー
 (株)センチュリーホーム
 上村建設(株)
 有明高専専攻科
 山口大学工学部
 鹿児島大学工学部
 京都府立大学人間環境学部
 日本大学通信教育学部法学部

生産情報システム工学専攻

東しエンジニアリング(株)
 三菱重工業(株)広島製作所
 日立造船メカニカル(株)
 ソニーセミコンダクタ九州(株)

(株)荏原九州
 (株)HIP
 九州工業大学大学院
 熊本大学大学院

応用物質工学専攻

日本モレックス
 (株)ジャパンアクアテック
 昭栄化学工業(株)

田中貴金属工業(株)
 東京大学大学院

建築学専攻

大和ハウス工業(株)
 (株)丹青社
 積和不動産九州(株)

住友林業(株)
 (株)竹中工務店

学生表彰



4A 堤美江さん(応募時は3A)は、高校生のための「エネルギーと環境」コンペティション2006(主催:名古屋工業大学エネルギー・環境研究会)、「Vernacular Architecture - 地方特有の気候風土及び文化から生まれる建築-」のアイデア部門で「入選」を受賞しました。



5A 村田拓也君(応募時は4年生)が「天神文化賞~天神まちづくり憲章コンテスト~(主催:We Love 天神協議会)」のイメージ部門で「優秀賞」を受賞しました。

1年間皆勤賞

■1M 23名 ■1E 23名 ■1I 14名 ■1C 21名 ■1A 8名
 ■2-1 8名 ■2-2 7名 ■2-3 9名 ■2-4 7名 ■2-5 10名

トピックス

岱明寮竹林の整備

本校の岱明寮の裏山は整備がされていなかったために竹が生い茂っていました。そこで、「有明・里山を守る会」の方々と本校の教職員の有志が集い、竹林の整備のために間伐等の作業を行っています。



平成18年度 日本技能検定 協会連合会会長賞 受賞

4A藤木亜希子さんは日本漢字能力検定において優秀な成績を収め、表記の賞を受賞し、平成19年3月28日に東京の経団連ホールで行われた授賞式で表彰されました。



前列右端が藤木さん

AED格納式自動販売機の設置

平成19年1月17日、AED (Automated External Defibrillator 自動体外式除細動器) 格納式自動販売機が学生課前に設置されました。3月14日には視聴覚室において教職員に対して取り扱いに関する説明会が行われました。



ロボット グランプリ 2007 知から自慢



1回戦第1試合 M&N(左)v.s.TTHY



1回戦第2試合 IS(左) v.s. MVR



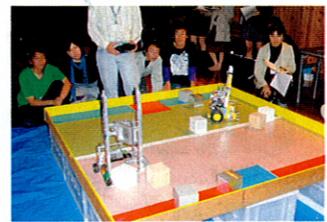
1回戦第3試合 和(左) v.s. K3・T



会場風景



1回戦第4試合 東京ヴェルディ1969(左) v.s. N&M



決勝戦 N&M(左) v.s. IS

編集後記

研修旅行や球技大会などイベントが多数行われた5月も終わり、物憂い梅雨がやってくる6月となりました。これからも夏に向けて高専体育大会や英語弁論大会など数多くのイベントがありますが、それらを存分に楽しむためにも日頃の努力をおろそかにせず、自分の成長を実感しながら高専生活を送ってもらいたいものです。また有明高専の外の人々と触れ合う機会があれば、ぜひ恥ずかしがらず積極的にコミュニケーションを取りましょう。校長先生のお言葉にもあるように「有明高専の外の世界」を知ることが、君たちをもっと成長させてくれることでしょう。

有明高専だより 第122号

平成19年6月15日

編集・有明高専広報室
発行・有明工業高等専門学校
〒836-8585 大牟田市東萩尾町150
TEL 0944-53-8861 (学生課)
<http://www.ariake-nct.ac.jp/>

